

一橋大学機関リポジトリ 事例紹介



2017年度第3回機関リポジトリ新任担当者研修
一橋大学情報基盤センター情報推進課
大田垣 耕司

JPCOAR オープンアクセスリポジトリ推進協会
研修作業部会

内容

1. 一橋大学概要
2. 電子図書館から機関リポジトリへ
3. 一橋大学機関リポジトリ
4. 研究者DBとの連携
5. 展望/課題

1. 一橋大学概要

- 理念
 - 社会科学の総合大学
 - リベラルな学風
 - 産業界の指導者を育成するという建学理念「Captains of Industry」
- 沿革
 - 1875(明治8)年 森有礼が商法講習所を私設(翌年に東京府立)
 - 1884(明治17)年 東京商業学校と改称(農商務省直轄→翌年に文部省直轄)
 - 1920(大正9)年 東京商科大学に昇格
 - 1949(昭和24)年 一橋大学に改組
- 学部/大学院/研究所
 - 商学・経済学・法学・社会学の4学部
 - 商学・経済学・法学・社会学・言語社会・国際企業戦略の6研究科、国際・公共政策教育部
 - 経済研究所
- 学生数/教職員数
 - 学部学生4,421人/大学院生1,886人
 - 専任教員(助手を含む)381人/専任事務職員176人

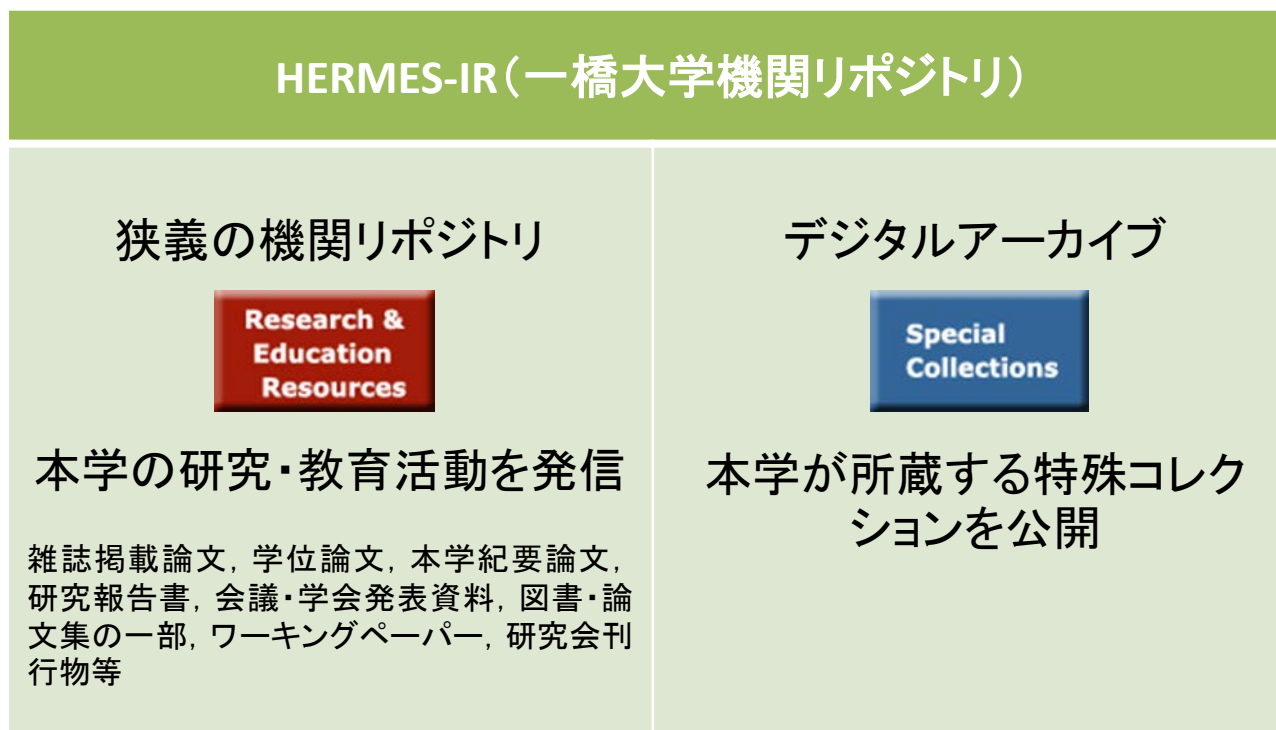


2. 電子図書館から機関リポジトリへ

- 2001年11月 一橋デジタルアーカイブス“HDA”を公開
 - 2000年度補正予算により電子図書館整備
 - 目標「一橋大学のあらゆるところに存在するあらゆる種類のコンテンツを一元的に検索, 閲覧できる環境を提供」
 - 一橋大学が所蔵する貴重資料(図書, 手稿類, 古典籍類, 写真, 図譜類等)
 - 一橋大学が所蔵する原典史料(古文書類, 近現代の文書類, 行政文書等)
 - 一橋大学の教育研究成果(研究報告, 紀要類, 各種データベース, 学位論文)
 - 学園史資料(商業教育史や地域社会史上重要な一次資料)
 - 上記各種資料の保存媒体(マイクロフィルム, CD-ROM等)
 - 2003年7月「一橋デジタルアーカイブスにおける学内紀要類の搭載及び発信に関する実施要項」を制定
- 2007年5月 一橋大学機関リポジトリ“HERMES-IR”を公開
 - 2006年7月国立情報学研究所「次世代学術コンテンツ基盤共同構築委託事業」に採択

3. 一橋大学機関リポジトリ

- 一橋デジタルアーカイブス“HDA”のコンテンツを継承
- 狭義の機関リポジトリ「Research & Education Resources」とデジタルアーカイブ「Special Collections」の2つのメニューで構成



HERMES-IR (一橋大学機関リポジトリ)

- 2007年5月公開
- ソフトウェアは、DSpace 1.4.1。
- 1つのサーバに2つのDSpaceを構築。

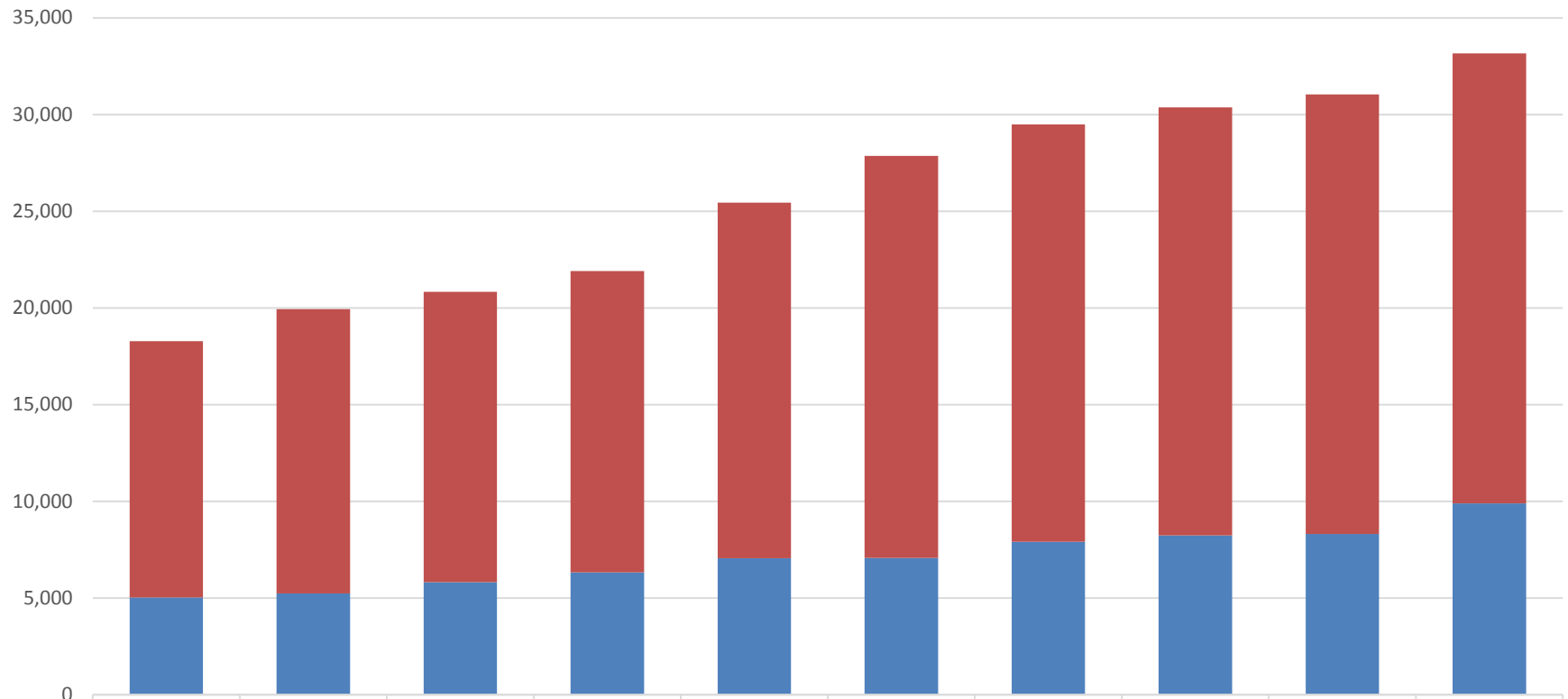
The screenshot shows the main page of HERMES-IR. The header includes the university logo and the text 'HERMES-IR Hitotsubashi University Repository'. The main content area is titled 'HERMES-IR : Research & Education Resources' and features a 'News' section with several announcements regarding service suspensions and updates. A sidebar on the left contains navigation links like 'Home', 'About Us', and 'DSpaceについて'. A search bar is located at the top left.

HERMES-IR : Research & Education Resources
<https://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/>

The screenshot shows the 'Special Collections' page of HERMES-IR. The header is similar to the main page. The main content area is titled 'HERMES-IR : Special Collections' and features a 'News' section with announcements about service suspensions. A sidebar on the left contains navigation links like 'Home', 'About Us', and 'DSpaceについて'. A search bar is located at the top left.

HERMES-IR : Special Collections
<https://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/>

コンテンツ累計登録数



	2007年度末	2008年度末	2009年度末	2010年度末	2011年度末	2012年度末	2013年度末	2014年度末	2015年度末	2016年度末
R&ER	13,248	14,708	15,021	15,575	18,374	20,790	21,581	22,126	22,719	23,268
SC	5,029	5,237	5,820	6,334	7,069	7,076	7,911	8,247	8,322	9,891

資源タイプ別コンテンツ数内訳

(2017年7月31日現在)

資源タイプ	Research & Education Resources 全体の件数(割合)	Special Collections 全体の件数(割合)
Journal Article / 学術雑誌論文	4,005 (17.1%)	1 (0.0%)
Thesis or Dissertation / 学位論文	385 (1.6%)	0 (0.0%)
Departmental Bulletin Paper / 紀要論文	14,027 (59.8%)	15 (0.1%)
Conference Paper / 会議発表論文	48 (0.2%)	0 (0.0%)
Presentation / 会議発表用資料	82 (0.3%)	4 (0.0%)
Book / 図書	146 (0.6%)	400 (3.3%)
Technical Report / テクニカルレポート	3,086 (13.1%)	0 (0.0%)
Research Paper / 研究報告書	287 (1.2%)	322 (2.7%)
Article / 一般雑誌記事	1,147 (4.9%)	1 (0.0%)
Learning Material / 教材	1 (0.0%)	0 (0.0%)
Others / その他	262 (1.1%)	11,304 (93.8%)
合計	23,476 (100%)	12,047 (100%)

登録コンテンツの特徴

- 紀要論文が多い
 - 大学の歴史が長く、1921年の論文から収録している。
 - 理系に比べ、紀要論文の業績的価値が高く、利用も多い。
- テクニカルレポートが多い
 - 経済学分野特有のディスカッション・ペーパー/ワーキング・ペーパーをNII資源タイプ「テクニカルレポート」として収録している。
- 学術雑誌論文の割合が少ない
 - 理系に比べ、学術雑誌論文の生産量が少ない。
 - 日本語の論文が多く、日本の出版者(学協会、商業出版社等)に登録・公開の許諾を求めても、回答が来ないことが少なくない。
- 博士論文が少ない
 - 理系に比べて、博士(後期)課程の大学院生が少ない。
 - 博士論文を図書として出版予定などの事情により、許諾率が低い。

コンテンツ収集

- 紀要論文, ディスカッションペーパー/ワーキングペーパー
 - 新規発行分は包括許諾により登録
 - バックナンバー分はオプトアウトにより登録
- 学位論文
 - 平成25年学位規則改正によるインターネット公表の義務化

学術雑誌論文をどうやって
収集しよう...

→ 研究者DBとの連携を模索

4. 研究者DBとの連携

● 連携の目的

- 教員の研究成果情報を網羅的に把握したい。
- 機関リポジトリへのコンテンツ提供について、教員の意思確認を効率的に行いたい。
- 教員から、本文ファイルの提供を受けたい。
- 教員に機関リポジトリの存在を認知してもらいたい。



The screenshot shows the HRI website interface. At the top left is the Hitotsubashi University logo and name. A red button with 'English' is on the top right. The main heading is '研究者情報 HRI: Hitotsubashi Researchers Information'. Below this is a banner image of a building window with a circular decorative element. A text box explains the system's purpose: '「一橋大学研究者情報」は、大学の教員の教育研究活動に関する情報を公開することにより、実務、政策、社会、文化などの積極的な連携を推進し、日本及び世界に知的、実践的に貢献することを目的とした検索システムです。' Below the banner are two search sections. The first is '研究者情報検索' (Researcher Information Search) with a red header. It contains a search input field, a '検索' (Search) button, and radio buttons for search criteria: '氏名' (Name), '研究者基本情報' (Researcher Basic Information), '研究活動' (Research Activities), '教育・社会活動' (Education/Social Activities), and 'すべて' (All). The second section is '研究業績検索' (Research Performance Search) with a red header. It contains a search input field, a '検索' (Search) button, and radio buttons for search criteria: '著書・論文名等' (Books/Paper titles, etc.) and '出版社・掲載誌名' (Publisher/Journal titles).

一橋大学研究者情報(HRI)
<https://hri.ad.hit-u.ac.jp/>

担当：総務部研究・社会連携課

研究者DBとの連携機能

時期	連携機能
2007年11月	機関リポジトリと研究者DBの連携方法検討
2009年3月	機関リポジトリと研究者DBの連携構想図作成
2011年6月	<p><研究者DBの更新時に機能実装></p> <ol style="list-style-type: none">① 機関リポジトリから研究者情報ページへのリンク② 研究者情報ページから機関リポジトリへのリンク③ 機関リポジトリに登録された論文データ(主として紀要論文)の研究者DBの業績への追加④ 研究者DBから業績データの抽出
2012年9月	<p><改修></p> <ul style="list-style-type: none">• 機関リポジトリから研究者情報への直接リンク化(①の改修)• 機関リポジトリから研究者情報への業績転送時の業績上書き防止機能の追加(③の改修)
2013年11月	<p><改修></p> <ul style="list-style-type: none">• 研究者DBの業績データ登録画面に、機関リポジトリの許諾確認項目を追加

① 機関リポジトリから研究者情報ページへのリンク

一橋大学機関リポジトリ (HERMES-IR)

一橋大学研究者情報 (HRI)

HERMES-IR : Research & Education Resources >
030 Department Bulletin Papers = 本学紀要論文 >
一橋法学 = The Hitotsubashi journal of law and international studies >
03巻2号 [2004.6] >

このアイテムの引用には次の識別子を使用してください: <http://hdl.handle.net/10086/7116>

Title: 独禁法による企業結合規制に関する一瞥見: その趣旨・目的と規制対象・規制基準について
Other Titles: A note on some basic problems regarding the merger control
Authors: 山部, 俊文 [Researchers Info.](#)
Issue Date: Jun-2004
Publisher: 一橋大学大学院法学部
Citation: 一橋法学
Volume:
Issue:
Start Page:
End Page:
Citation notes:
Language:
Text Version:
Appears in Collection:

Files in This Item:

File	Description	Size	Format
hogaku0030200510.pdf		987Kb	Adobe PDF View/Open

アイテムの詳細しコードを表示する

HERMES-IRに掲載されているアイテムは、他サイトに転載される場合も限る、著作権に帰属されます。

一橋大学
研究者情報 HRI: Hitotsubashi Researchers Information

HOME > 検索結果 > 山部 俊文

法学研究科
山部 俊文(ヤマベ トシフミ)

研究者基本情報 研究活動 教育・社会活動 [In English](#)

著書

1. 『独占禁止法(第三版)』
弘文堂 2010年

研究論文

1. 「公正競争阻害性・再論(不正な取引方法規制の再検討)」
日本経済法学会年報 30巻19-36頁 2009年 学術雑誌
ISSN 1344-4263 [FULL TEXT](#) [CINII](#)
2. 「ドイツ競争制限禁止法における市場支配力のコントロール」
ジュリスト 1331号113-124頁 2007年 学術雑誌
ISSN 0448-0791 [FULL TEXT](#) [CINII](#)
3. 「不正な取引方法の規制の現状と理論的課題」
公正取引 673号2-10頁 2006年 学術雑誌
ISSN 0425-6247 [FULL TEXT](#) [CINII](#)
4. 独禁法による企業結合規制に関する一瞥見: その趣旨・目的と規制対象・規制基準について
一橋法学 3巻2号395-415頁 2004年 大学紀要
ISSN 1347-0388 [FULL TEXT](#) [IR](#) [FULL TEXT](#) [CINII](#)
5. ※刊行終了のお知らせ
一橋大学研究年報、法学研究 36巻127頁 2001年 大学紀要
ISSN 0439-3260 [FULL TEXT](#) [IR](#)

ドイツ競争制限禁止法における市場支配的企業の濫用行為の規制について

機関リポジトリの著者名横のリンクバナーをクリックすると、研究者DBの研究者情報ページに移動

② 研究者情報ページから機関リポジトリへのリンク

一橋大学研究者情報 (HRI)

一橋大学機関リポジトリ (HERMES-IR)

一橋大学
研究者情報 HRI: Hitotsubashi Researchers Information

HOME > 検索結果 > 山部 俊文

法学研究科
山部 俊文 (ヤマバ トシユミ)

研究者基本情報 研究活動 教育・社会活動

著書

研究論文

1.	『独占禁止法(第3版)』 私文堂 2010年	
2.	「公正競争阻害性・再論(不正な競争) 日本経済法学会年報 30巻19-30頁 ISSN 1344-4263	FULL TEXT IR
3.	「ドイツ競争制限禁止法における市場支配的企業 ジュリスト 1331号113-124頁 2006年 ISSN 0448-0791	FULL TEXT IR
4.	「不正な取引方法の規制の現状と公正取引」 673号2-10頁 2006年 ISSN 0425-6247	FULL TEXT IR
5.	「独占禁止法による企業結合規制に関する一管見：その趣旨・目的と規制対象・規制基準について」 一橋法学 3巻2号395-415頁 2004年 大学紀要 ISSN 1347-0388	FULL TEXT IR
6.	「X 平行終了のお知らせ」 一橋大学研究年報 法学研究 36巻127頁 2001年 大学紀要 ISSN 0439-3260	FULL TEXT IR

一橋大学機関リポジトリ
HERMES-IR

HERMES-IR : Research & Education Resources >
020 Department Bulletin Papers = 法学と国際法 >
一橋法学 = The Hitotsubashi journal of law and international studies >
03巻2号 (2004.6) >

このアイテムの引用には次の識別子を使用してください: <http://hdl.handle.net/10086/8716>

Title: 独禁法による企業結合規制に関する一管見：その趣旨・目的と規制対象・規制基準について
Other Titles: A note on some basic problems regarding the merger control
Authors: 山部, 俊文 [Researchers Info](#)
Issue Date: Jun-2004
Publisher: 一橋大学大学院法学研究科
Citation: 一橋法学
Volume: 3
Issue: 2
Start Page: 395
End Page: 415
Citation note: (石原全教授退官記念 = Commemorating Professor Akira ISHIHARA's Retirement)
Language: jpn
Text Version: publisher
Appears in Collections: 03巻2号 (2004.6)

File	Description	Size	Format
hogaku0030200510.pdf		987Kb	Adobe PDF View/Open

研究者DBの業績一覧には機関リポジトリ等のURLを登録することができる。機関リポジトリのアイコンをクリックすると機関リポジトリの論文ページに移動。

③ 機関リポジトリに登録された論文データの研究者DBの業績への追加

- 機関リポジトリに登録された論文データ(主として紀要論文)を、業績データとして研究者DBに送信・登録する機能。
 - － 機関リポジトリからCSVデータを作成
 - － CSVデータを研究者DBに登録

教員の研究業績の入力負担を軽減するために実装されたが、2016年の研究者DBの改修に伴って、この機能は停止した。

④ 研究者DBから業績データの抽出

1 研究者DBへ業績データ(研究論文)を登録する際に、機関リポジトリでの公開を許諾するかどうか、選択できる。

2 共著者・出版者の許諾状況の入力が可能。

一橋大学機関リポジトリ著作物利用許諾	<input type="radio"/> 許諾する <input type="radio"/> 許諾しない <small>・対象種別は「研究論文」のみとなります。 ・この著作物について「一橋大学機関リポジトリ(HERMES-IR)への著作権利用許諾要件(http://hermes-ir.lib-hit-u.ac.jp/ir/format/format.xls)」に同意し、HERMES-IRにおける利用許諾を完了します。</small>
一橋大学機関リポジトリへの登録に関する他の著作権者の同意	出版者 <input type="radio"/> 未確認 <input type="radio"/> 確認済 <small>・出版者の同意が「未確認」の場合、事務局より出版者へ照会を行います。ただし、同意が得られず登録できない場合もあります。</small> 共著者 <input type="radio"/> 未確認 <input type="radio"/> 確認済 <small>・共著論文の場合、共著者の同意を得た上で許諾してください。</small>
本文電子データアップロード	ファイルを選択 <input type="button" value="選択されていません"/> ファイル削除: <input type="checkbox"/> <small>・論文本文の電子データ(PDF等)をお持ちの場合はこちらからアップロードしてください。ただし、出版者より異なる版での公開が求められる場合もあります。 ・英文で掲載された論文の場合、なるべく著者最終原稿をアップロードしてください。許諾後の登録作業がスムーズになります。</small>
一橋大学機関リポジトリ事務局への連絡事項	<input type="text"/>

3 登録用PDFのアップロードが可能。

4 事務局への連絡事項の入力が可能。

教員によって研究者DBに登録された業績データについて、機関リポジトリ担当者は一括で出力できる。

研究者DBには、機関リポジトリへの登録に関する項目も登録することができる。

研究成果情報の把握について

- 一橋大学では第3期(平成28～33年度)中期目標・中期計画において、研究分野ごとの査読付論文数、うち英語論文数、総論文数、著書数等の数値目標を設定している。
- 数値目標の達成状況は、研究者DBの登録データによって集計される。

平成28年度国立大学法人一橋大学年度計画

<http://www.hit-u.ac.jp/guide/middle/pdf/H28nendo-k.pdf>

世界大学ランキング (QS 2015)研究分野	著書数	総論文数	査読有論文	英語論文
Accounting & Finance	-	-	15(100)	5(50)
Business & Management Studies	10(80)	-	20(130)	10(80)
Economics & Econometrics	-	-	70(450)	40(300)
Law	25(170)	90(600)	-	-
全分野	105(700)	405(2700)	140(950)	80(550)

注)全分野:世界大学ランキング(QS 2015)の全ての分野が対象。目標値は上記4分野の数値を含む。括弧内は6年間の数値目標。

研究者DBとの連携の副産物

- 研究者DBを担当している部署とは、研究業績の把握方法、研究者の識別子（研究者番号、ORCID等）、研究データの公開、APCの学内助成など、担当者レベルでいろいろな話をするきっかけになっている。
- システム連携にとどまらず、研究者DBのことを知ることはリポジトリ担当者にとって有益。

5. 今後の展望/課題

- オープンアクセス方針の策定(平成29年度)
- junii2からJPCOARスキーマへの移行(平成30年度?)
- 機関リポジトリシステム更新(平成31年度)
 - 次の選択肢の中から次期システムに移行
 - JAIRO Cloudへの移行
 - DSpaceのバージョンアップ
 - 図書館システムのメタデータ管理システムの利用
 - 研究者DBとの連携など、カスタマイズ機能をどう維持するか。